

社会資本整備審議会 道路分科会
第59回国土幹線道路部会

ヒアリング資料

本州四国連絡高速道路株式会社

令和5年10月24日

海を越えて、
世代を超えて

神戸淡路鳴門自動車道全通25周年
瀬戸大橋開通35周年

目次

1.本四高速の事業概要

2.料金改定後9年間の振り返り（平成26年～令和4年）

3.今後10年程度の業績見通し

4.適切な維持管理

5.利用促進の取組

※本四高速：本四会社を示す

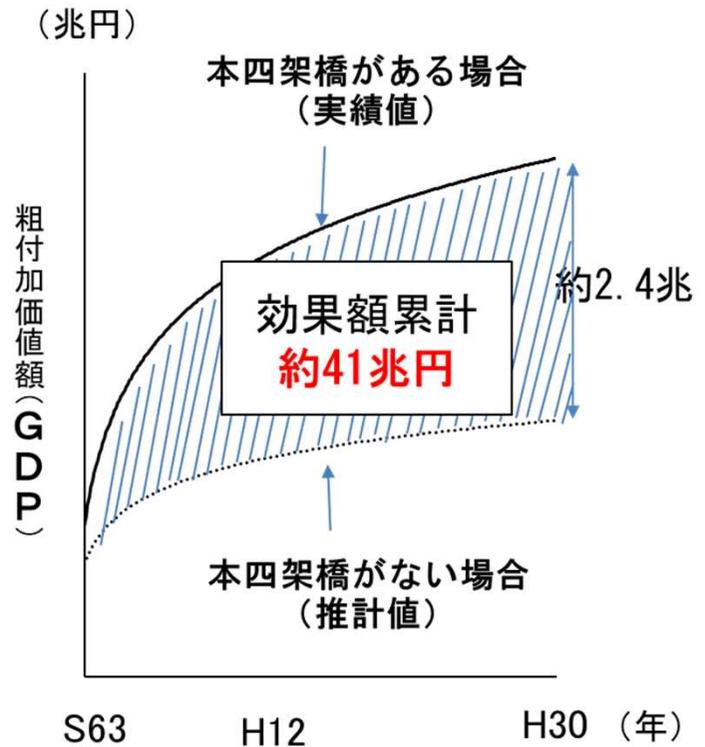
※本四道路：本四高速道路を示す

1.本四高速の事業概要(1)～本四高速の概要～

- 本四高速は、瀬戸内の大動脈であり、本四間をつなぐ唯一の本四道路を管理
- 本四道路の経済効果は約41兆円（累計）と推計、経済・社会の発展に寄与
- 長大橋技術企業として、世界最大規模の長大橋群を含む本四道路を建設・管理
- 瀬戸内企業として、本四道路の利用促進を通じて、瀬戸内地域の活性化を推進

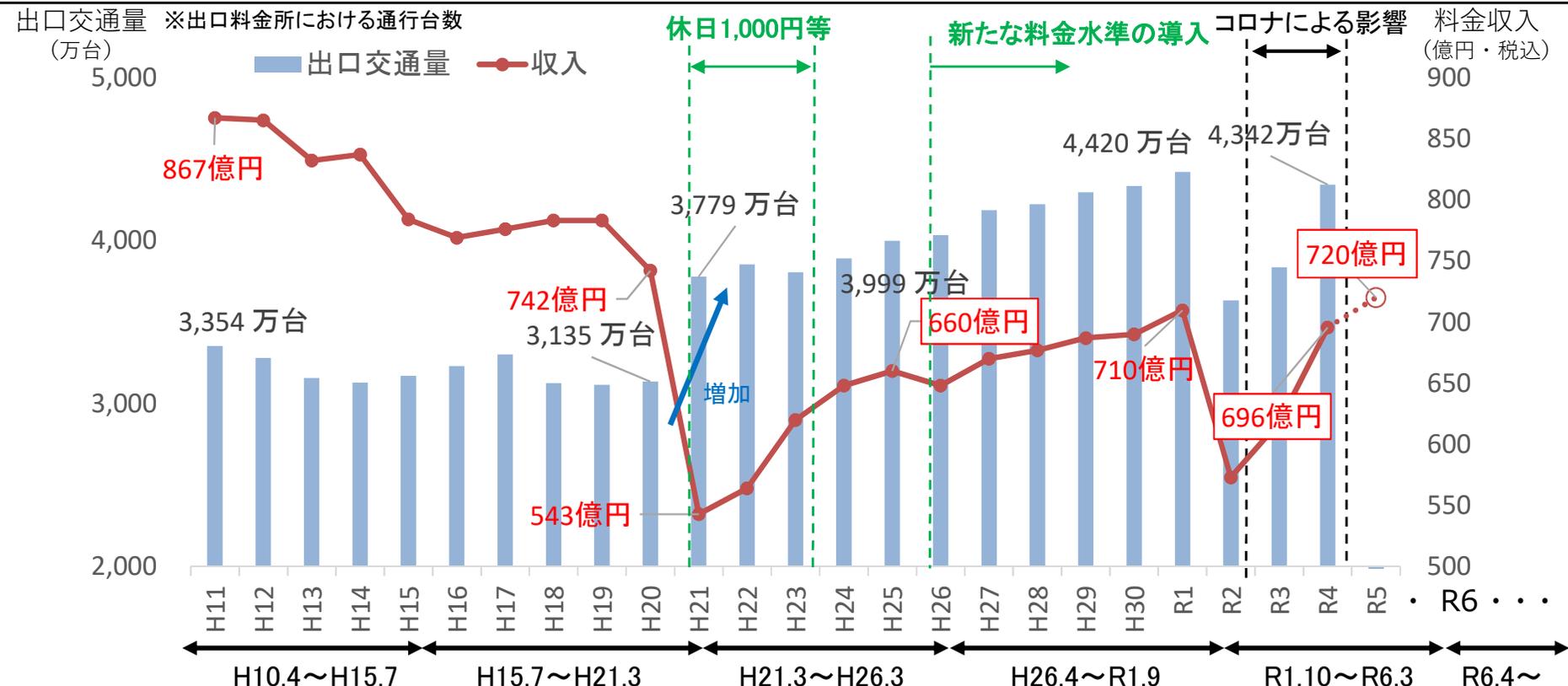


■ S63年～H30年の31年間の効果額



1.本四高速の事業概要(2)～本四道路の通行台数と料金収入～

- H21からの休日上限1,000円等の割引により、交通量は大幅に増加したが、料金収入は大幅減
- H26.4の料金水準引下げ以降、料金収入、交通量ともに増加、R1年度は710億円、4,420万台
- R4年度は、696億円、4,342万台とコロナ禍からの概ね回復
- R5年度の上半期実績を踏まえると約720億円で、R4年度を上回り、R1年度の水準を超える見通し



区間	～H21.3	～H26.3	H26.4～	R1.10～	R6.4
神戸西IC～鳴門IC	5,150円	3,815円	3,280円	3,340円	5,710円
早島IC～坂出IC	3,874円	2,870円	2,270円	2,310円	4,300円
西瀬戸尾道IC～今治IC	4,440円	3,290円	2,890円	2,950円	4,920円

※料金は、平日ETC利用の普通車料金(9時～17時利用)

(R6.4～の金額は、R5.9事業許可における料金設定)

1.本四高速の事業概要(3)～本四間を結ぶ3つのルート～

神戸淡路鳴門自動車道

～世界最大級の吊橋と世界有数の渦潮を渡る橋～

兵庫県神戸市～徳島県鳴門市
全長89.0km、長大橋数：2橋
事業費 14,700億円

橋梁名	橋長(m)	供用年数(年)
明石海峡大橋	3,911	25
大鳴門橋	1,629	38



世界第2位の吊橋・明石海峡大橋

瀬戸中央自動車道

～道路と鉄道併用の長大橋梁群「瀬戸大橋」～

岡山県都窪郡早島町～香川県坂出市
全長37.3km、長大橋数：6橋
事業費 6,700億円

橋梁名	橋長(m)	供用年数(年)
下津井瀬戸大橋	1,440	35
櫃石島橋	790	35
岩黒島橋	790	35
与島橋	850	35
北備讃瀬戸大橋	1,538	35
南備讃瀬戸大橋	1,648	35



世界最大規模の道鉄併用橋・瀬戸大橋

西瀬戸自動車道

～サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」～

広島県尾道市～愛媛県今治市
全長46.6km、長大橋数：9橋
事業費 7,300億円

橋梁名	橋長(m)	供用年数(年)
新尾道大橋	546	24
因島大橋	1,270	40
生口橋	790	32
多々羅大橋	1,480	24
大三島橋	328	44
大島大橋	840	35
来島海峡第1～第3大橋	4,105	24



日本最長の斜張橋・多々羅大橋

1.本四高速の事業概要(4)～本四高速の中期経営計画～

- R4～R6年度までの3年間を対象として、「行動計画2022-2024」を策定
- 着実な維持管理から長大橋技術による貢献、脱炭素社会への対応、瀬戸内の未来づくりまで様々な取組を行い、インフラ経営のリーディングカンパニーを目指す

社会環境の変化への対応

- SDGs 達成への貢献 ●脱炭素社会への取組 ●DXの推進

I. 持続可能な高速道路への挑戦

これからも安全、安心、快適に高速道路を利用していただくため、基盤となる高速道路事業の高度化・効率化の推進、SA・PAのサービス向上に取り組み、「持続可能な高速道路」を実現します。

<主な取組>

- 高速道路事業の高度化・効率化 ●本四高速道路の災害対応力の強化 ●本四高速道路の着実な維持管理
- 事故ゼロへの取組 ●SA・PAの快適性と利便性の向上 ●モビリティ社会に向けたサービスの進化
- 道路ネットワークの強化によるサービスの向上 ●広域交流への貢献



II. 200年橋梁への挑戦

200年以上の長期にわたり利用される「200年橋梁」を実現するため、ロボット化、デジタル化等も駆使して維持管理技術の高度化を推進するとともに、高い技術力を有し国内外から評価される「長大橋技術企業」を目指します。

<主な取組>

- 長大橋技術の高度化 ●JB本四高速グループの技術による貢献 ●長大橋技術の発信



III. 瀬戸内の未来への挑戦

瀬戸内の活性化を図るため、国、地方公共団体、大学、企業、地域に根ざす各種団体等、多様なパートナーとの連携を強化し、「瀬戸内の未来」につながる魅力を創り出します。

<主な取組>

- インフラツアーの更なる推進 ●SA・PAを拠点とした地域連携の推進 ●島旅の活性化
- サイクリングによる地域発信 ●「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展



IV. 成長し続ける企業グループへの挑戦

これらに挑み「成長し続ける企業グループ」となるため、多様な働き方に対応し、不断の意識改革や効率的な業務遂行に努め、社員一人一人が向上心を持って生き活きと働く基盤づくりに取り組みます。

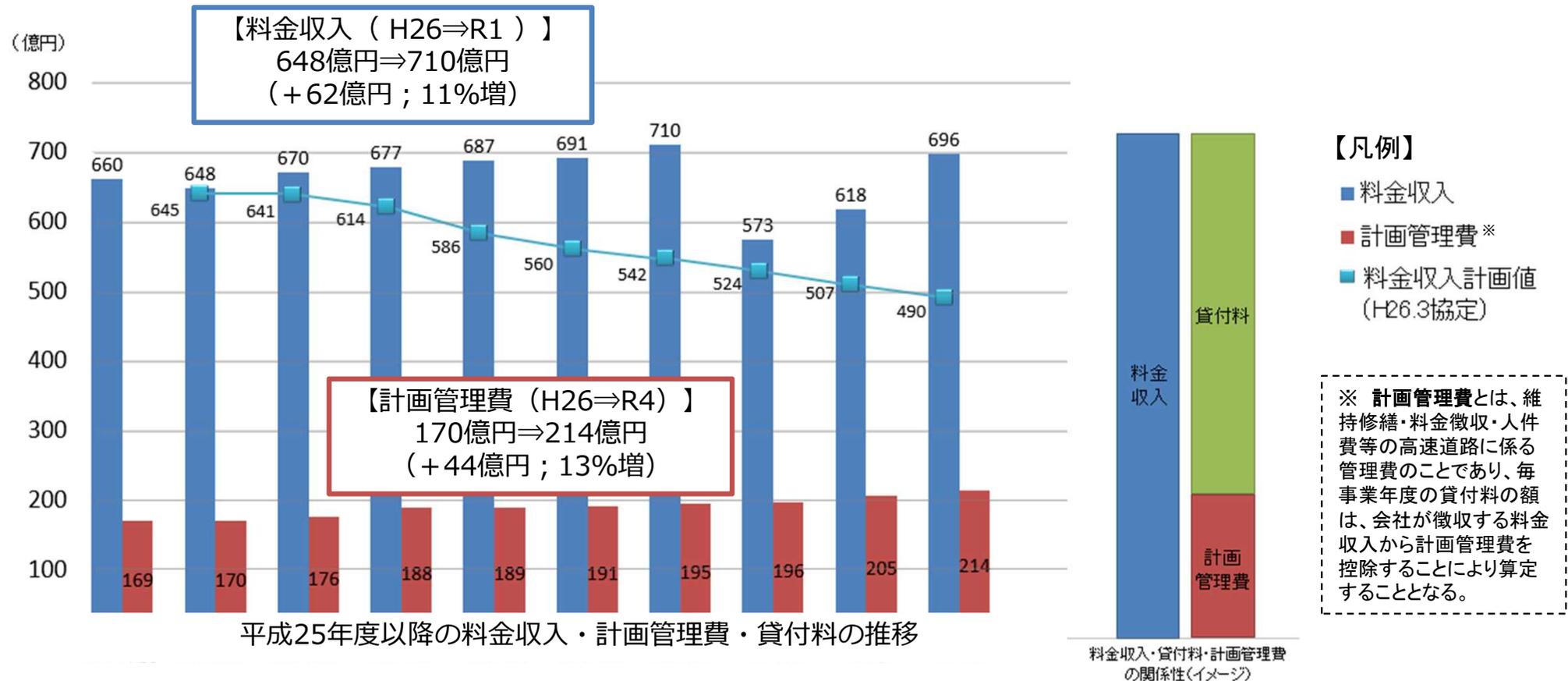
<主な取組>

- やりがいのある多様な働き方の実現 ●JB本四高速グループを支える人材の成長
- グループ経営基盤の強化 ●地域・社会への貢献 ●多様なパートナーとの連携



2.料金改定後9年間の振り返り(1)～引下げ効果 ～料金収入と管理費～

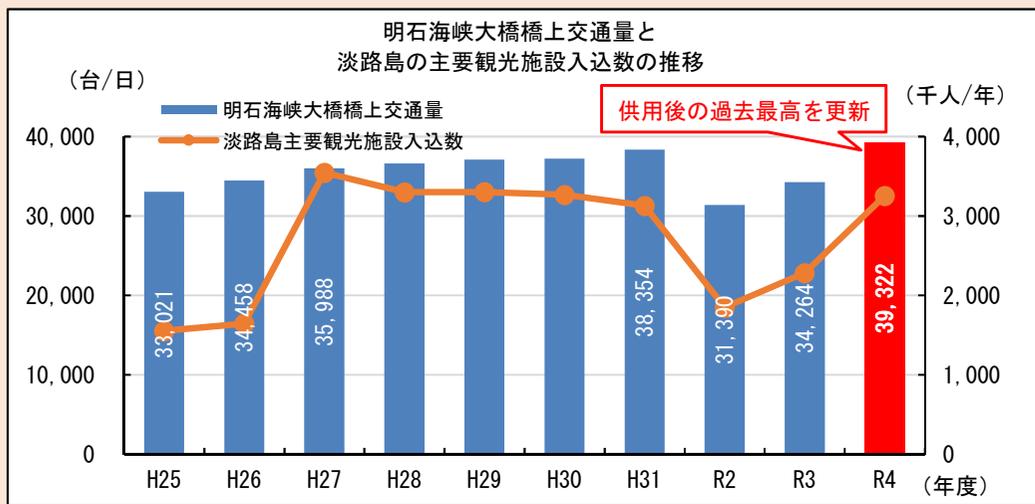
- H26年に本四道路は全国路線網へ編入し、全国共通料金を導入
(本四道路単独の償還計画から全国路線網全体の償還計画へ移行)
- 計画上の貸付料を確保するための料金収入と適切な維持管理が重要
- 人口減少等の要因から料金収入は減少する計画、一方でコロナ禍を除きH26年度からR元年度まで料金収入は大きく上振れ、計画管理費は労務費や光熱水費の上昇等に伴い増加
- 結果、H26年当時の計画に対して貸付料は増加



2. 料金改定後9年間の振り返り(2) ~ 引下げ効果 明石海峡大橋・淡路島の状況 ~

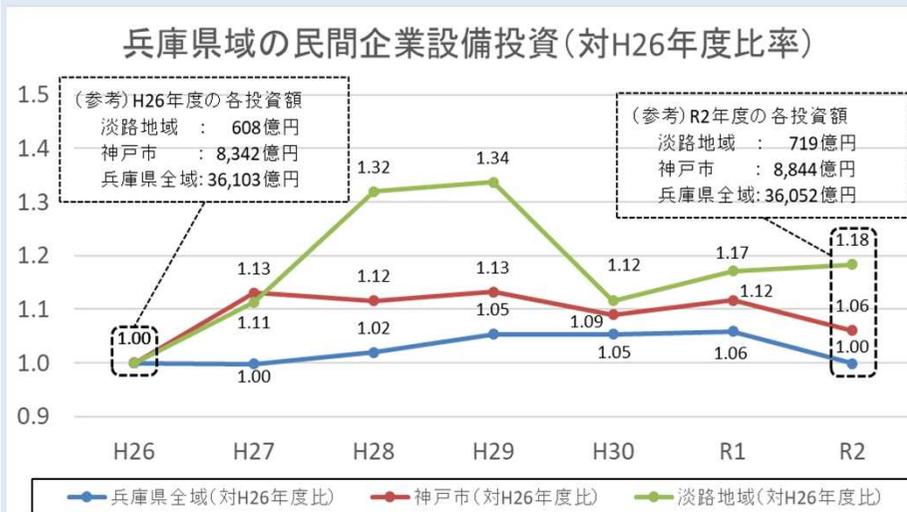
- 明石海峡大橋のR4交通量は、過去最高を更新（39,222台/日）
- 淡路島の観光入込は回復、また北部地域では、新たな観光施設の開業ラッシュが続く
- 淡路島の民間企業投資は増加しており、対H26の比率は県全体や神戸市よりも高い傾向

《観光入込数と橋上交通量が増加》



出典：JB本四高速資料、兵庫県淡路県民局資料より作成
注：主要観光施設数は、H25～26年度は7施設、H27年度以降は8施設

《淡路島の民間企業投資額は増加》



出典：「令和2年度兵庫県民経済計算」(兵庫県)より作成

《観光施設の開業ラッシュ》

H29年以降、特に淡路島北部で新たな観光施設の開業が続いている



写真：パソナグループ公式サイトから引用

2. 料金改定後9年間の振り返り(3) ~ 引下げ効果 四国発着自動車物流の増加 ~

- 本四3ルート開通後、広域化が進み、四国と全国の間で自動車による貨物流動量が増加
- H26以降も、四国と阪神・山陽・中部との強い結びつきが継続
- 四国と阪神・山陽間の自動車貨物流動量は、H26に比べ、R1は20%以上の増

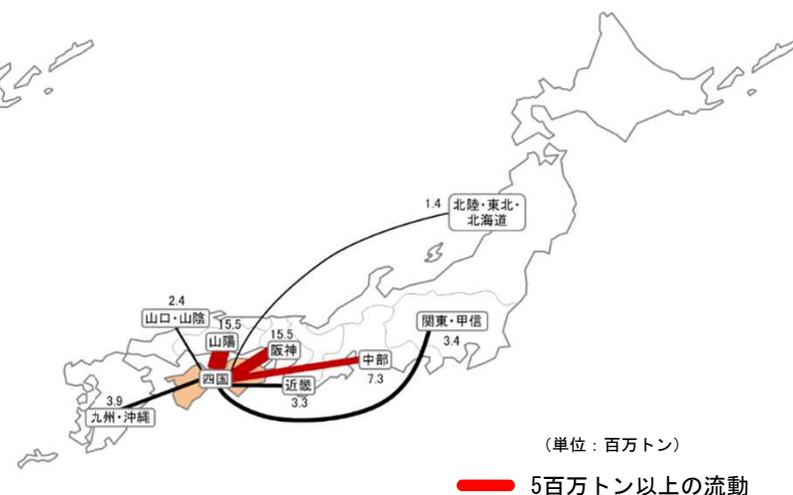
平成元年度



平成26年度



令和元年度



【四国⇄全国】30.2百万トン
【四国⇄阪神、山陽】15.5百万トン

【四国⇄全国】51.9百万トン
【四国⇄阪神、山陽】25.3百万トン

【四国⇄全国】52.7百万トン
【四国⇄阪神、山陽】31.0百万トン

注1: 「阪神」: 大阪、兵庫
「近畿」: 滋賀、京都、奈良、和歌山
「山陽」: 岡山、広島
注2: 端数処理の関係で、各県の合計値が一致しない場合がある。
出典: 「貨物・旅客地域流動調査」(国土交通省)より作成

《ダブル連結トラックが本四高速道路を走行!》

- 令和5年6月、愛媛県に製造拠点を有する大手企業がダブル連結トラックの実証実験を実施!
- ダブル連結トラックが瀬戸大橋、明石海峡大橋等を経由し、**本州・四国間を走行!**
- 本州・四国間の**物流促進、環境負荷軽減**の取組みを支えている。

※ダブル連結トラック: 長さ21m超、25mまでのバン型のフルトレーラ連結車を指し、1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能。



鴻ノ池サービスエリア下り線で
駐車中のダブル連結トラック



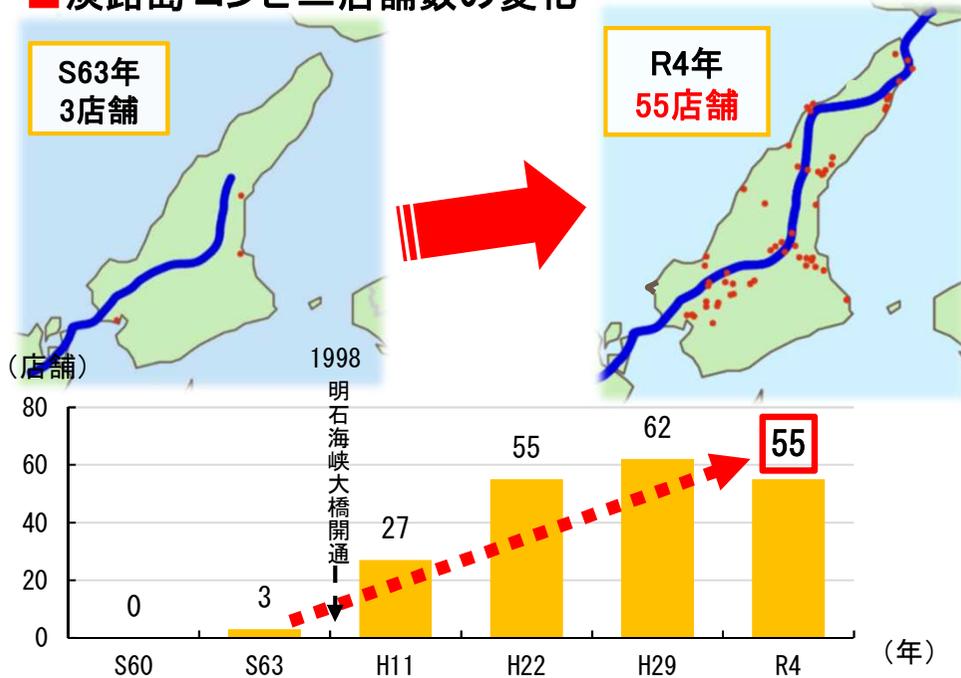
明石海峡大橋上り線を走行中の
ダブル連結トラック

出典: JB本四高速プレスリリース資料

(参考) 淡路島・しまなみ海道の島しょ部で「コンビニ」が増加

- 本四道路の開通に伴い、淡路島、しまなみ海道沿線の島しょ部でコンビニの出店が進む
- R4のコンビニ店舗数は、淡路島で55店舗、しまなみ海道沿線島しょ部で29店舗
- 島しょ部への店舗展開にあたり、商品配送や担当者による店舗訪問等の面で、本四道路の存在が大きく寄与

■ 淡路島コンビニ店舗数の変化



出典：各年次の電話帳をもとに作成 注：電話帳における分類が「コンビニエンスストア」であるものを抽出

■ しまなみ海道沿線島しょ部のコンビニ店舗数



島名		店舗数
広島県	向島	5
	因島	14
	生口島	4
愛媛県	大三島	2
	伯方島	2
	大島	2
合計		29

(R4年3月現在)

住民の声



コンビニは、ちょっとした買物や、料金の支払いのために使っています。以前は早朝や深夜に開店しているお店はほとんどありませんでしたが、今はコンビニがあるのでとても便利になりました。

大手コンビニ 営業担当マネジャーの声



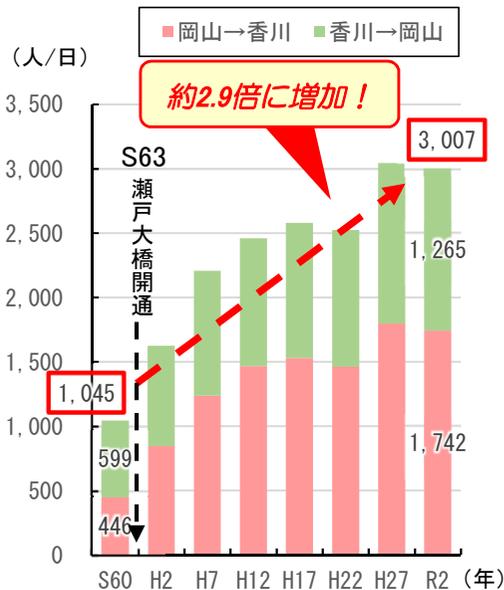
しまなみ海道開通前のH9年に大島に初出店し、当初は船で配送していました。
愛媛県本土からの商品の配送や、担当者による週2回の店舗訪問等を考えると、「橋」がなければしまなみ海道沿線でのさらなる出店は難しかったものと思います。

(参考) 岡山県と香川県間の通勤・通学が定着

- 瀬戸内海を隔てる岡山県と香川県の間では、瀬戸大橋を利用した通勤・通学が拡大
- 就業者・通学者数はそれぞれ瀬戸大橋開通前の約2.9倍、約4.5倍に増加
- 岡山大学では四国地方出身者、香川大学では近畿・中国地方出身者の割合がそれぞれ増加

岡山県と香川県間の就業者・通学者数の推移

◆就業者数の推移



◆通学者数の推移



出典: 「国勢調査」(総務省統計局)より作成
注: 「15歳以上就業者数」「15歳以上通学者数」の合計値

岡山大学・香川大学 入学者出身地の変化

岡山大学

瀬戸大橋開通前 (S61~S62年度平均)

瀬戸大橋開通後 (S63~H9年度平均)

瀬戸大橋開通10年以降 (H10~R3年度平均)

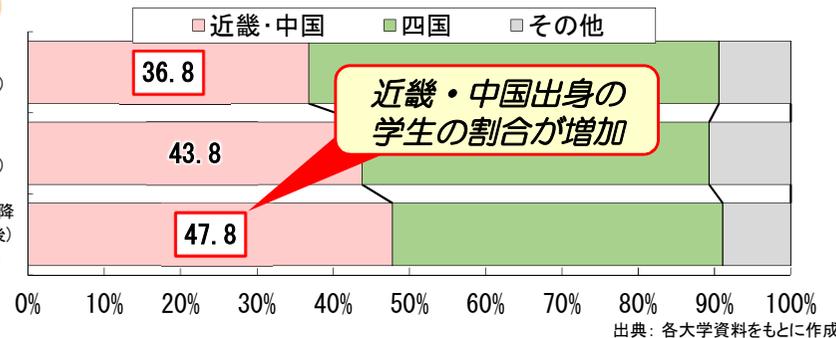


香川大学

瀬戸大橋開通前 (S61~S62年度平均)

瀬戸大橋開通後 (S63~H9年度平均)

瀬戸大橋開通10年以降 (明石海峡大橋開通後) (H10~R3年度平均)



出典: 各大学資料をもとに作成

岡山県・香川県間を通学する大学生の声

(高松市在住 岡山大・文学部4年 女性)

- 高松市内の自宅から岡山大学に通っています。瀬戸大橋線は始発が早く、終電は遅いので不便は感じません。卒業後は地元で働きたいと思い、香川県内の企業へ就職が決まっています。



(高松市在住 岡山大・教育学部3年 男性)

- 軟式野球部での部活動に力を入れており、朝7時からの練習には瀬戸大橋線の始発に乗って、ほぼ皆勤です。その甲斐あってH29年春のリーグ戦で優勝して全国大会に出場し、ベスト4に進出できました。



(参考) しまなみ海道島しょ部への移住

- 人口がS50年比で約40%減のしまなみ海道島しょ部で、官民の移住支援の取組が積極的
- 尾道市では移住に関する専用ポータルサイトを開設し、住居や就業などの情報を発信
- 大三島を中心に移住をサポートするNPO法人が支援した移住者は、H23年からの累計135人、89%と高い定着率
- 移住者による飲食店・民宿等に、サイクリストや観光客が訪れるなど地域活性化を促進

■ 尾道移住ポータルサイト

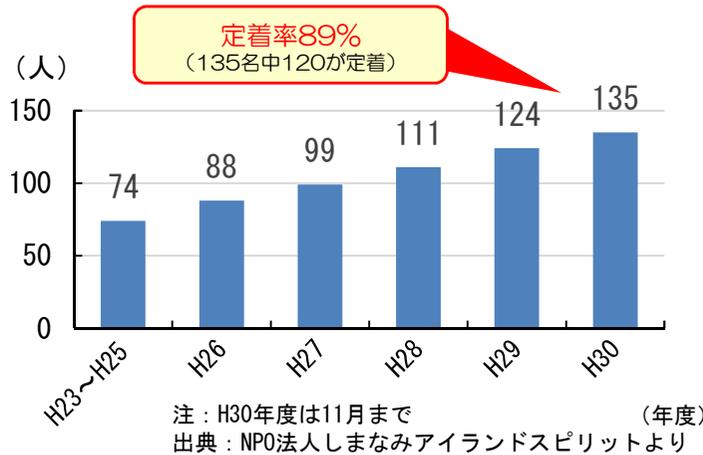


くらしの情報のほか、移住のステップやインタビュー記事、暮らしに役立つ情報等をサイトで紹介



移住された方が開設した古民家カフェ(生口島)

■ 民間(NPO法人)による支援実績(移住者累計)



移住された方々の声



自分がやりたかった「サイクル」「音楽」「カフェ」という要素を統合できる場所として古民家カフェを開業しました。近隣の方の応援もあり、子どもにとっていい環境です。橋でつながっているので市街地にもすぐ行けて便利です。



移住4年目で念願のブリュワリーを開業しました。来店約7割は観光客の方々です。麦やホップなどの原材料は本州の専門商社から仕入れていますが、橋のおかげで原材料が届かないという心配はありません。



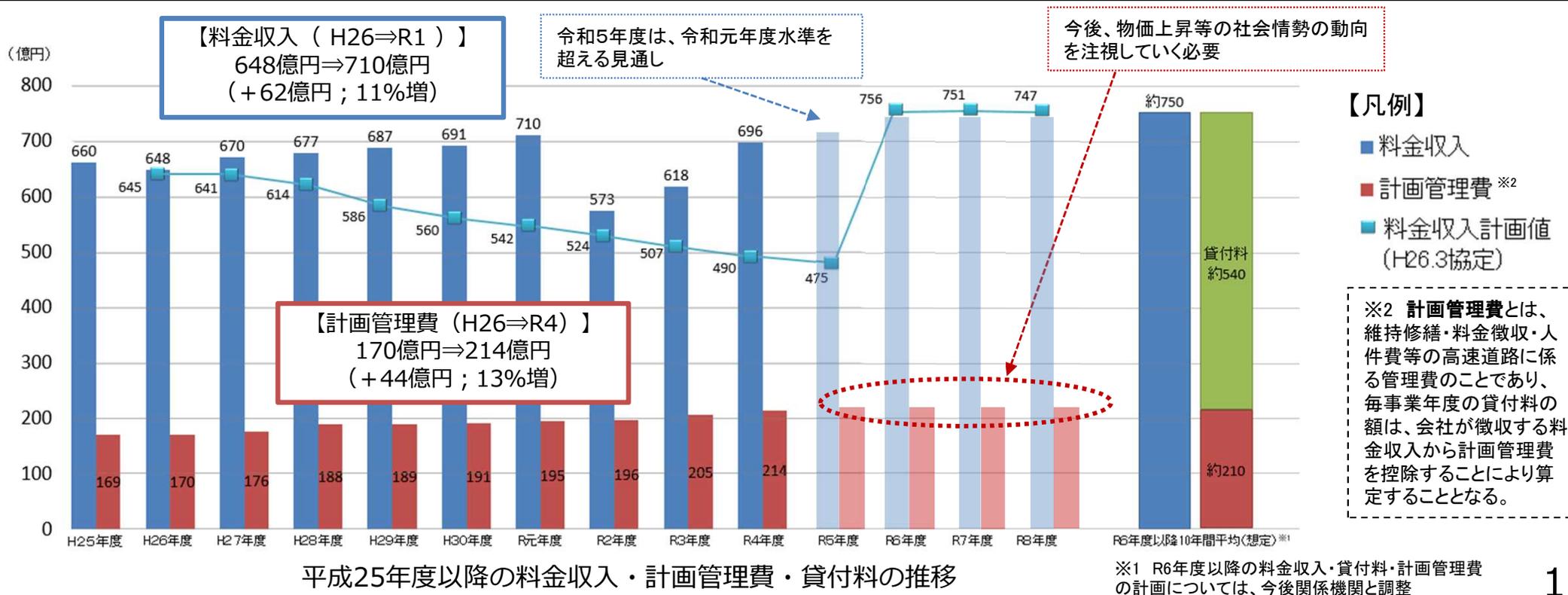
移住された方が開設したブリュワリー(大三島)



地域を盛り上げるため、地元商店街でU・Iターンの店主も共同して新たなイベントを実施(生口島)

3. 今後10年程度の業績見通し～料金収入と管理費～

- 現行の料金水準を維持した場合、R6年度以降の10年程度の業績見通しは、年平均で料金収入が約750億円に対し、貸付料は約540億円、計画管理費は約210億円。
- 料金収入は、R5年度見込みが約720億円とコロナ禍前の水準を超える見込みがあることに加え、マクロ経済の回復、インバウンドの本格化、それらに起因する観光需要の回復等が見込まれることから、今後も増加していく見通し。
- 適切な維持管理を実施するために必要な計画管理費は、R4年度実績と同程度の見通しであることから、計画の貸付料を確保できる見込み。



4.適切な維持管理(1)～海峡部長大橋の維持管理の考え方～

- 海峡部長大橋である本四連絡橋は、世界にも類を見ない大規模な構造物群
- 200年以上にわたり利用いただける「200年橋梁」を目指した維持管理を実施
- 通行止め等による社会的影響やLCCを最小化するため予防保全を基本
- 厳しい環境条件下にあるため、早期の変状発見、劣化の初期段階での維持補修が重要
- 効率的な維持管理やコスト縮減のため、新技術の開発と活用を推進

【海峡部長大橋の維持管理の特徴】



- 代替路がなく常時供用が必要
- 気象、海象等の厳しい自然環境

- 複雑かつ多様な構成部材が膨大にある大規模構造物であり、動きのある構造物

- 海上にあり、点検・補修など維持管理のための接近手段が限定される

4.適切な維持管理(3)～維持管理に関する事業と今後の見通し～

- 維持管理に関する事業には、計画管理費で行うもの、計画管理費以外で行うものがある
- 供用年数増に伴う劣化の進展や、建設時に想定していなかった事象に対し計画的な対応が必要
- 通行止めを伴う大規模な工事に至らぬようLCC最小化を目指し、予防保全の高度化が必要

計画管理費

(日常的な作業等)



清掃作業



ケーブルの点検



自動精算機による料金収受

計画管理費以外

(計画的に資産価値を高める修繕等)



長大橋基礎の防食



ダンパー設置による耐震補強



表面保護工

(億円)

300

250

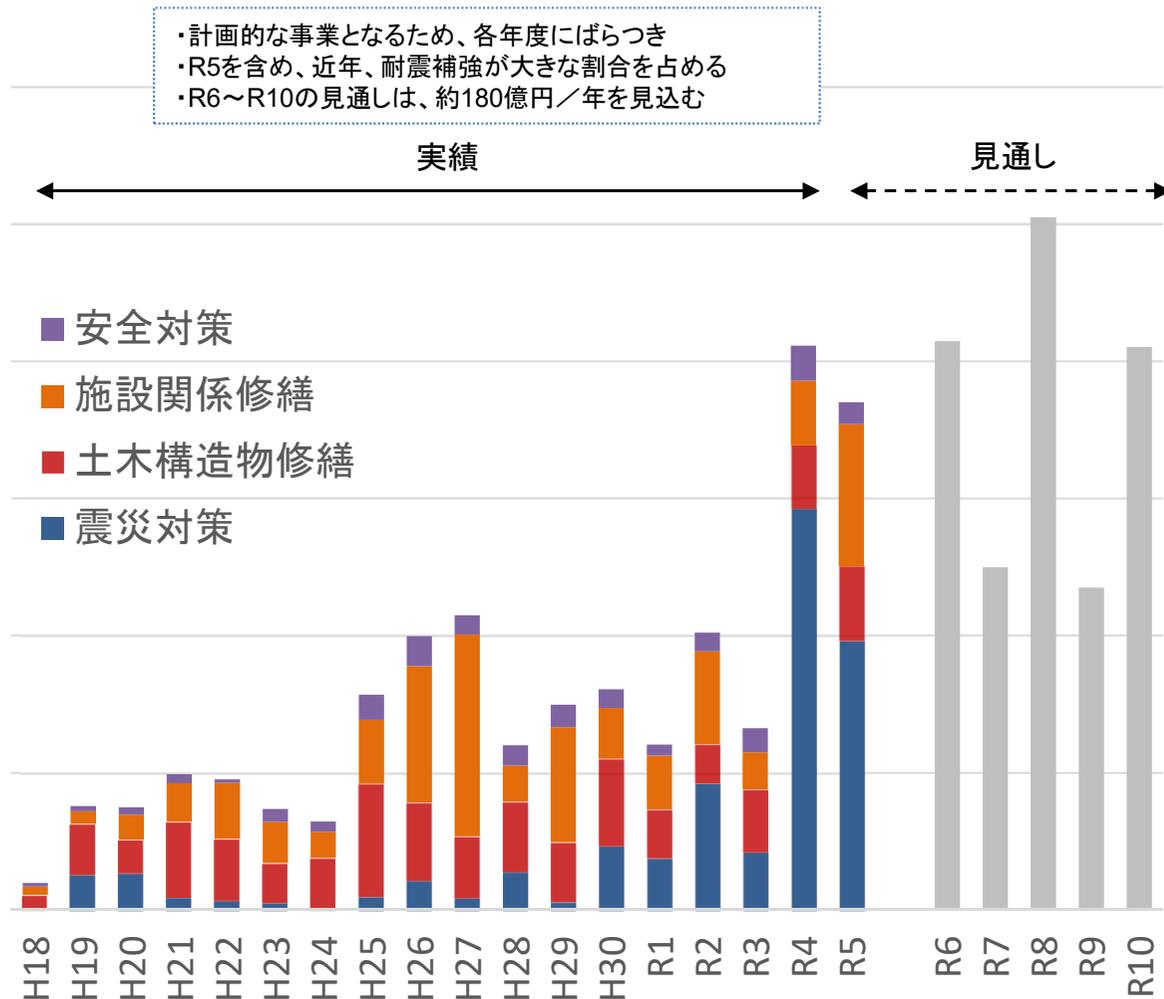
200

150

100

50

0



平成18年度以降の修繕費の実績と見通し

4.適切な維持管理(4)～長大橋の維持管理に関する技術開発～

- 今後の長大橋等の経年劣化への対応として、技術開発による効率化・コスト縮減に取り組む
- 高耐久性塗料の開発や点検補修用作業車の改良等により効率化やコスト縮減に努めている
- さらに、長大橋維持管理の高度化・効率化に向け、AI、DX等を活用した次世代長大橋維持管理システムの構築を推進

Check

- 点検作業の省力化・省人化
- 点検ツールの高度化
- モニタリング・常時監視・非接触計測等



ケーブル点検ロボット



入力デバイス (タブレット)

情報取得技術

点検・モニタリングの高度化



ハンガー点検ロボット



音声認識・ウェアブルカメラ

変状記録・情報管理の高度化



A | 画像差分解析

Action

- 変状記録の数値化
- 位置情報の取得、変状記録の数値化
- AIによる評価・判定支援
- 技術・経験値の数値化
- 差分画像解析による判定

情報管理技術



A | 診断

次世代維持管理統合情報システム



Do

- 発注業務の高度化・効率化等
- 現場作業の省力化・省人化
- 自動塗装ロボット
- 補修機材・超耐久性材料の開発等

補修技術



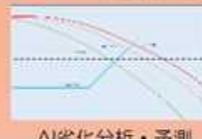
自動塗装ロボット



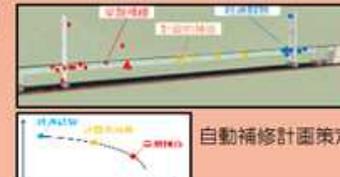
施工計画支援・自動積算・数量算出

修繕工事・積算作業の高度化

解析・分析技術

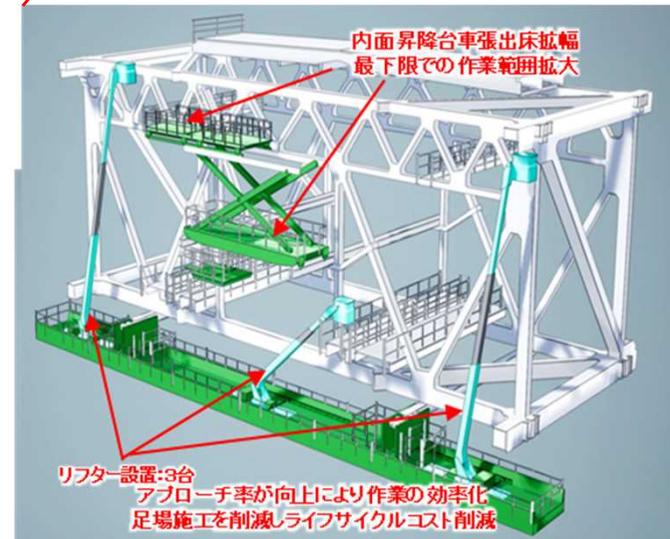
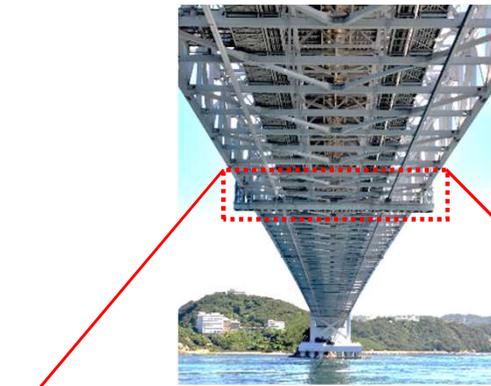


AI劣化分析・予測



自動補修計画策定

劣化予測・補修計画立案の高度化



長大橋3次元モデルをハブとしたプラットフォーム

点検補修用作業車の改良

5.利用促進の取組(1)～環瀬戸協議会を通じた利用促進の取組～

- H26年の全国共通料金導入に合わせ、「環瀬戸内海地域交流促進協議会」を国土交通省と共同で設置
- 地域の経済界、自治体等の関係者が一体となって、さまざまな分野での交流を促進し、経済、生活、文化の一層の発展、向上を図ることを目的として活動



構成員

四国経済連合会	会 長 (協議会会長)
"	観光振興委員会委員長
"	産業振興委員会委員長
(一社)中国経済連合会	会 長
兵 庫 県	副 知 事
岡 山 県	副 知 事
広 島 県	副 知 事
徳 島 県	副 知 事
香 川 県	副 知 事
愛 媛 県	副 知 事
高 知 県	副 知 事
四国運輸局	局 長
中国地方整備局	局 長
四国地方整備局	局 長
本州四国連絡高速道路(株)	代表取締役社長
西日本高速道路(株)中国支社	支 社 長
西日本高速道路(株)四国支社	支 社 長

(事務局:四国地整、本四高速)

○取組目標

【短期目標】R4年度までに、令和元年度の交流状況以上に復興

【中期目標】R10年度までに、年間交流人口1,000万人増に再チャレンジ

○協議会開催状況

・H26. 3. 27 第1回協議会(香川県高松市)

その後、約2回/年の頻度で、現在まで16回開催(直近開催はR5. 8. 3)

○取組内容

◆観光連携

・環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興、瀬戸内海の「海」の魅力の発信等

◆産業連携

・産業基盤の整備、ワーケーション、サテライトオフィス棟の取組等

◆生活、文化等

・環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承等

◆情報発信

・環瀬戸HP、四国・中国地域の相互広報、四国八十八景のプロモーション等

◆その他

・「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組等

5.利用促進の取組(2)～本四高速による地域と連携した利用促進等の取組～

- 瀬戸内に立脚する企業として、国、自治体、企業等と連携を強化、魅力を発信
- 瀬戸内の更なる活性化に取り組み、本四道路の利用促進、瀬戸内の活性化を推進

(本四高速の取組)

インフラツアー

長大橋群を活用した橋梁技術の発信、非日常空間の創出

サイクリング

サイクリングによる広域連携を推進し、サイクルツーリズムを通じた地域のブランド価値向上

美術館ネットワーク

美術館のネットワーク化による、文化・芸術分野の瀬戸内の魅力発信

SAPAの拠点化

瀬戸内地域の食、特産品等をテーマにした魅力の発信

島 旅

景観や地域資源を活かした観光振興や、地域が抱える課題解決



せとうちグルメ通信

麺喰らう出会い

夏

特集 せとうちの麺たち



(参考) インフラツアーの更なる推進

- 地域の観光資源として世界に誇る長大橋梁群の「観光コンテンツ」としての活用等を目的としてインフラツアーを積極的に実施
- 大阪・関西万博を見据えたインバウンド向け付加価値の高いツアーの開発など

(1) インフラツアー

瀬戸内地域の観光資源として世界に誇る長大橋梁群の「観光コンテンツ」としての活用や「技術広報」を目的として、個人・団体を対象とした“明石海峡大橋ブリッジワールド”、“瀬戸大橋スカイツアー”をはじめとした塔頂等体験ツアーを実施

2023年度は、周年記念インフラツアー及び列車撮影スペシャルツアー、小学生を対象とした親子ツアーの開催“ブリッジワールド”及び“スカイツアー”の開催日の拡大や定員をコロナ禍前の水準以上とすること等地域への集客を促進



明石海峡大橋
ブリッジワールド



明石海峡大橋
親子ツアー



大鳴門橋うずしお
ウォーク



瀬戸大橋スカイツアー



瀬戸大橋 列車撮影スペシャルツアー

2023年度は、
【神戸淡路鳴門自動車道
全通25周年】
【瀬戸大橋開通35周年】

海を越えて、
世代を超えて

(2) 企画提案型ツアー

大阪・関西万博を訪れる国内旅行者やインバウンド等の誘客を目的として、瀬戸内地域の多様なコンテンツとの新たな組合せによる付加価値の高いツアーを造成するため、新規性・独自性・情報発信力・当社の地域連携事業との関連性に着目した企画提案型ツアーを募集



企画提案型インフラツアー

(3) 大阪・関西万博に向けた取組み

2025年大阪・関西万博に向けて、引き続き明石海峡大橋をはじめとした本四架橋のインフラツアーの聖地として、兵庫県園芸・公園協会と連携し、観光客の誘致や知名度の向上に取り組む

- 当社コンテンツと園芸・公園協会のコンテンツを組み合わせたツアーの造成
- せとうちDMO等の関係機関と連携した広域なスルーガイドの育成、多言語に対応できるパンフレットやHPの案内

(参考) サイクリングによる地域発信

- 行政域を超え、国、地方公共団体等が瀬戸内地域を一つのエリアとして連携し、自転車を通じた瀬戸内地域の魅力を発信することで、「サイクリングの推進エリア」として瀬戸内地域の活性化を目指す
- R5年度は、Setouchi Vélo協議会の着実な運営のため、定期的に作業部会を開催し、構成団体等と連携を深め、作業部会で定める活動を着実に実施。また、活動の円滑化のため、市町等の協議会への参加を促進する

(1) Setouchi Vélo協議会の開催

国、地方公共団体等の長、地域経済団体トップ等による「Setouchi Vélo協議会」を開催（50団体 100名程度）

(2) Setouchi Véloの活動

① サイクリングルートのネットワーク化

- 1) 新たな県跨ぎルート及び市町で管理運営するルートの追加
- 2) Setouchi Véloホームページの充実
 - ・各ルート紹介頁追加（80ルート）
 - ・スマホアプリでのナビ機能の導入、コラムの追加

② サイクリングの推進エリア化

- 1) 複数県にまたがるトライアルライド及び市町ミーティング(MTG)の実施
- 2) 「思いやり1.5m」運動の推進
- 3) Setouchi Véloスポットの登録
- 4) e-bikeの普及促進
 - ・トライアルライド及び市町会議においてe-bikeの体験乗車会、普及講演会を開催

③ 国内外への情報発信

- ・協議会でのメディアの誘致、活動の継続的取材の誘致
- ・せとうちDMOと連携した欧米豪市場への情報発信（欧州向けモニターツアー）

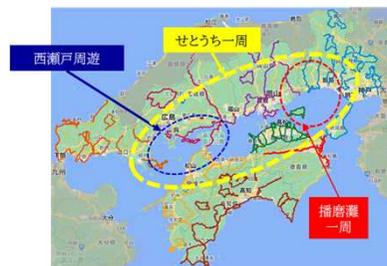
来島海峡会議



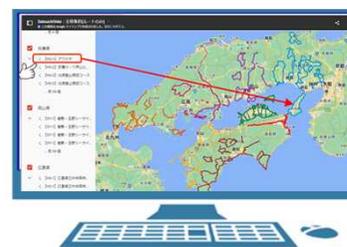
トライアルライド



行政境を超えたルートの設定



マップの作成・デジタル化



ステッカーイメージ



トライアルライド



広域DMOとの連携



(参考) 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

- 大阪・関西万博2025の開催にむけて、さらにネットワーク参加施設との連携を強化し、活用することで、文化・芸術面から瀬戸内地域の魅力を発信し、瀬戸内地域の交流人口の増加につなげる

(1) ネットワークの連携強化と活用

① 地域懇談会の開催

参加施設の現状をエリア毎に確認し、意見交換等を行い、活動の充実を図る

② せとうちアートセミナーの開催

周年記念として、アートの魅力や各美術館の取組内容に関する講演会を開催

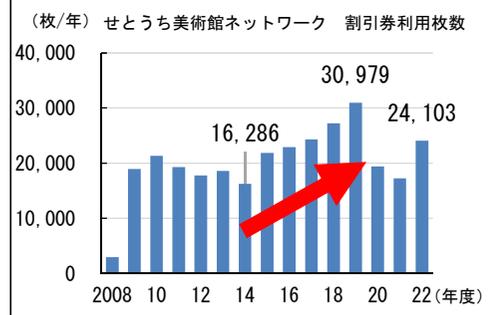
③ せとうちアートツアーの実施

館長等の同行や時間外の貸切見学の高価格帯ツアーを実施

【せとうち美術館ネットワーク】

「せとうち美術館ネットワーク」は瀬戸内企業である本四高速のメセナ活動の一環として、美術館や博物館など、文化芸術施設をネットワーク化し、瀬戸内地域の交流促進と活性化、こどもの美術鑑賞教育の普及を図ること等を目的に発足。発足時の2008年10月は6施設。

参加施設
(2023年8月時点 84施設)



※せとうち美術館ネットワークリーフレットに付属する割引券の利用枚数

(2) ネットワークの発信力の強化

① せとうち美術館ネットワーク「パスポート」・デジタルスタンプラリー実施

ネットワーク冊子（加盟施設紹介・入館割引券・施設スタンプラリー）を「せとうち美術館ネットワークパスポート（A6判横）」に刷新し発行。更に、スマホで参加できるデジタルスタンプラリーを実施予定

② 「せとうちアート通信」の内容の充実

特別展等のチラシ等を紹介したタブロイドペーパー「せとうちアート通信」を発行。春号は、周年記念(特別)号として発行
広報（配布）エリアの拡大
従来の展覧会情報に加え、ワークショップ等のイベント情報や新規展示物の紹介などを加え内容の充実を図る



(3) 大阪・関西万博に向けた取組

○せとうちアートエキスポ2025委員会の設立

大阪・関西万博2025の開催に向けて、加盟館及び関係団体で構成する委員会を設立する

5.利用促進の取組(3)～本四高速等による自転車料金の無料化の取組～

- しまなみ海道は「サイクリストの聖地」として国内外から注目
- R1.11に、世界に誇るナショナルサイクルルートに指定
- H26より広島県・愛媛県と協力し、自転車通行料金を無料とする企画割引を開始
- H26以降、レンタサイクルの貸出台数も大幅に増加



しまなみ海道ルート概要図

しまなみサイクリングフリー

瀬戸内しまなみ海道の自転車の通行料金が2024年3月31日(日)まで無料です! Bicycles are toll free!

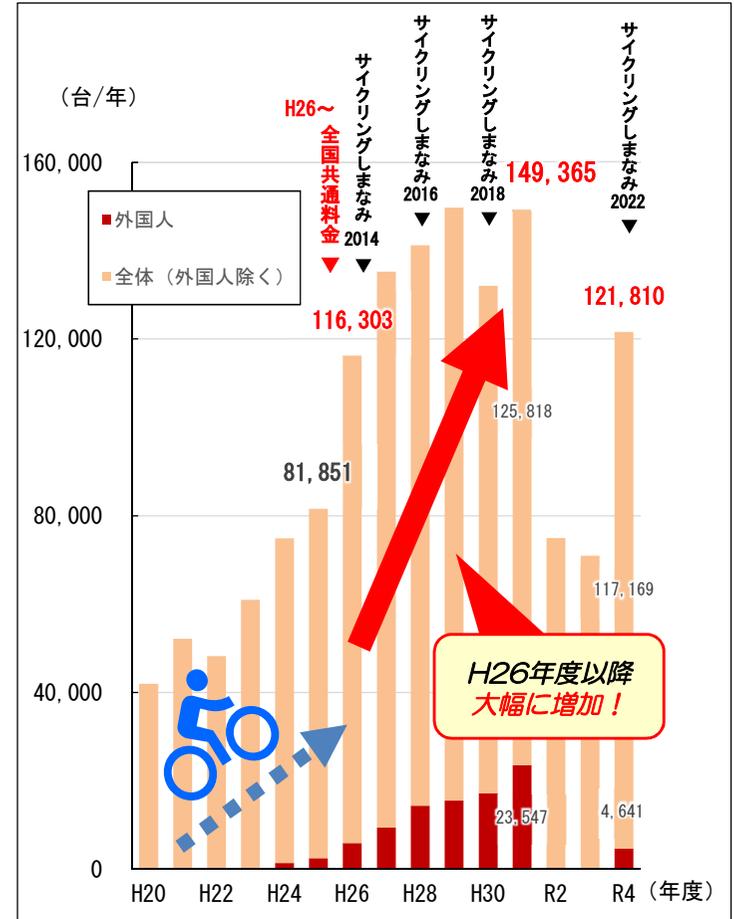
※原動機付自転車は含みません。
新尾道大橋は、自転車歩行者道がありません。また、尾道大橋は道幅が狭く、交通量も多いため、渡船のご利用をおすすめします。

The toll of bicycles for Shimanami Kaido is free until March 31, 2024.
Covered vehicle: Bicycles *not including motorized bicycles
Toll Free Section: bicycle and pedestrian walkway of Shimanami Kaido
Shin-Onomichi Bridge does not have a bicycle and pedestrian way. The footway on Onomichi Bridge is narrow and dangerous. Bicycles and pedestrians should use the ferry instead.

しまなみ海道サイクリングロードは国が指定するナショナルサイクルルートです。

お問い合わせ先 お客様窓口 TEL.078-291-1033 (お問合せ時間:9:00~17:30)
本州四国連絡高速道路株式会社 詳細は「日本高速道路」をご覧ください。ホームページ: https://www.jp-homh.co.jp/customer_index/

しまなみサイクリングフリー

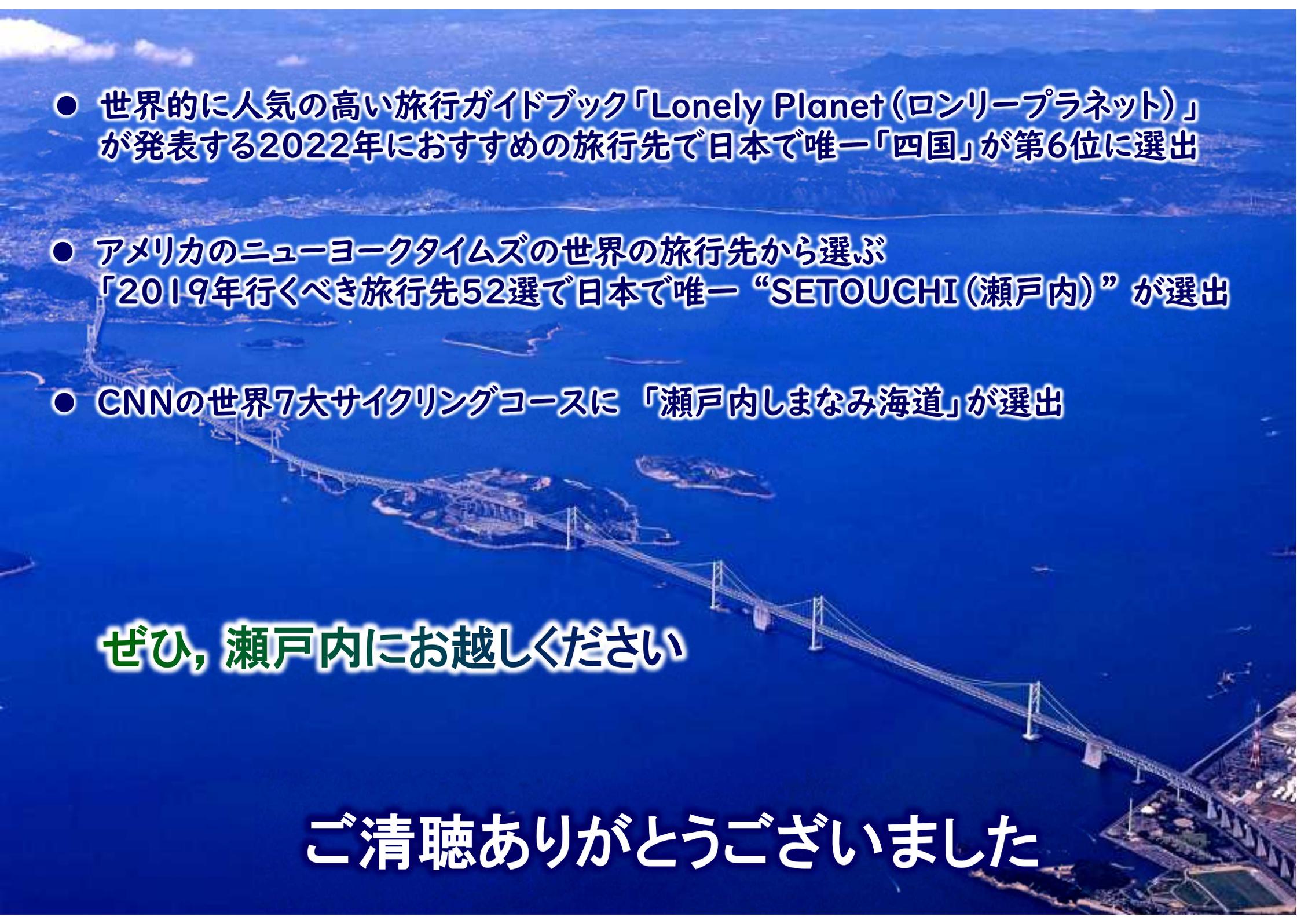


しまなみ海道 レンタサイクル貸出台数の増加

注: 外国人の集計はH24年度から
出典: 広島県尾道市、愛媛県今治市提供データより作成

まとめ

- 料金は引下げられたものの、想定以上の交通量の伸張があり、利用促進や地域連携の取組等ともあわせ、料金収入は増加した
- 一方、料金引下げや利用促進の効果により、貨物流動量の増加や瀬戸内地域の観光振興に寄与する等、全国や地域経済に好影響が見られた
- 今後、社会情勢の動向を注視し、適切な維持管理等を含めた安定的な経営の観点からも、料金水準についての検討が必要

- 
- 世界的に人気の高い旅行ガイドブック「Lonely Planet (ロンリープラネット)」が発表する2022年におすすめの旅行先で日本で唯一「四国」が第6位に選出
 - アメリカのニューヨークタイムズの世界の旅行先から選ぶ「2019年行くべき旅行先52選で日本で唯一“SETOUCHI (瀬戸内)”が選出
 - CNNの世界7大サイクリングコースに「瀬戸内しまなみ海道」が選出

ぜひ、瀬戸内にお越しく下さい

ご清聴ありがとうございました